

事業評価書

補助事業名	社会福祉施設：健康増進施設増築					
補助事業者名	小美玉市長					
実施場所	小美玉市上吉影58番1					
補助事業の成果の目標	<p>本事業の施設（小美玉温泉ことぶき）は、市内唯一の温泉であり、現在、市が所有する施設の中でも年間を通して利用者が多い施設である。</p> <p>当施設は、若者から高齢者まで幅広い年齢層の方に利用されているが、特に農業従事者から農作業による肉体疲労が激しいのでサウナを作って欲しい旨の意見が多く寄せられている。</p> <p>そこで、今回、当施設にサウナを整備することで、地域住民の健康増進に寄与する。</p> <p>【参考指標】 利用人数（平成26年度）：83,234人</p>					
補助事業の内容	増築工事 S造平屋建 延床面積59.59㎡					
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成27年度					
事業費及び交付金額		25年度 まで	26年度	27年度		計
		円	円	円		円
	事業費	—	4,212,000	50,166,000		54,378,000
	交付金額	—	4,000,000	40,000,000		44,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 当施設の利用者へアンケート調査を実施したところ、「サウナができて嬉しい、汗流して疲れがとれた」「サウナで身体が温まった」「ひのき香るサウナが気持ちよくリラックスできた」等の声が多数あった。あわせて、サウナ設置後の当施設利用者も増加していることから、地域住民の健康増進に寄与していると考えられる。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 工事期間中看板を設置し地域住民へ周知を実施した。 市ホームページ及び広報紙に掲載し市内全戸配布し周知を行った。</p>					
事前の改善措置及び今後の対応	無					
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	消防に関する施設：耐震性貯水槽設置				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市佐才地内 外2箇所				
補助事業の成果の目標	<p>本市の旧小川町は、旧美野里町や旧玉里村に比べ、消火栓や防火水槽等の消防水利の整備が未だ不十分な地域である。</p> <p>旧小川町では、平成24年1月に10棟が全焼、4棟が部分焼となる火災が発生し、1名の焼死者を出した。また、東日本大震災時には、火災発生が1件で大惨事に至らなかったが、断水の影響で消火栓が使用できない状態となった。</p> <p>そこで、先般の東日本大震災や今後想定されている首都直下型地震等の予期せぬ災害に備え、消火活動に必要な水源を確保するために、耐震性貯水槽を整備し、住民が安心して安全な暮らしができる環境に寄与することを目標とする。</p> <p>【参考指標】整備地区の人口/世帯数： 佐才地区 812人/278世帯 飯前地区 654人/227世帯 山川地区 595人/213世帯 (H27.4.1現在)</p>				
補助事業の内容	工事3基				
補助事業の始期及び終期	平成25年度から平成27年度				
事業費及び交付金		26年度以前	27年度	28年度 以降予定	計
	事業費	円 16,549,200	円 20,455,200	円 -	円 37,004,400
	交付金額	円 15,100,000	円 15,680,000	円 -	円 30,780,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 佐才、飯前、山川地区における耐震性貯水槽の整備が完了した。各地元区長に対して意見を聴取したところ、耐震性貯水槽が整備されたことにより、住民が安心して安全な暮らしができる環境が図られたと考える。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事看板、地区回覧、防火水槽の標識（支柱）に調整交付金事業である旨記載をした。また、市ホームページ及び広報紙に掲載をした。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	福祉に関する事業:小美玉市公共用バス整備基金									
補助事業者名	小美玉市長									
実施場所	小美玉市内									
補助事業の成果の目標	<p>現在、小美玉市では地域住民の社会福祉活動の足として市が所有する公共用バスを必要とする各種団体に貸し出している。</p> <p>当市の公共用バスは、既に10年以上を経過し、総走行距離も20万km以上であることから、修理や部品交換が年々多くなっており、近年では団体が必要とする時に貸し出すことができないケースも多々あった。</p> <p>そこで、常に万全な車両で貸し出すことができるよう、現有車両を修理、点検、更新することで、円滑な社会福祉活動ができる環境の確保を図る。</p> <p>【参考指数】 平成27年度の公共用バスの延べ利用団体/利用日数：団体 572/265日</p>									
補助事業の内容	市が所有する公共用バスの修繕及び更新									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度から平成33年度 基金の処分:平成26年度から平成33年度									
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金 処分類 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	円
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	25	8,900,000				8,900,000		8,900,000		
26	8,000,000				8,000,000	8,586,000	8,314,000	8,586,000		
27	20,000,000				20,000,000	1,068,000	27,246,000	1,069,264		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 利用対象である福祉団体に順調に利用されている。福祉団体にアンケート等調査を行った結果、「スケジュールを変更することなく希望した日時にバスを借りることができた」「時間どおりに目的地まで連れて行ってくれる」等の声が挙がっている。このことから当事業により、円滑な社会福祉活動が確保できたものとする。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ①バス側面にステッカーを貼り、車内にも掲示 ②市ホームページに掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									